

「君が代」調教 NO！松田処分取消裁判

最高裁への「公正な判決を求める署名」にご協力をお願いします

Democracy for Teachers and Children ～「君が代」処分撤回！松田さんとともに～(D-TaC)

共同世話人 笠松正俊 田中秋子 中桐康介

◆何も説明されず意見も聞かれず

とにかく国歌(君が代)を起立・斉唱せよと命じられる子どもたち…

子どもの権利条約違反では？

◆「国旗(日の丸)に向かって国歌(君が代)を起立・斉唱する自らの姿を通して

子どもたちを教育せよ」の命令に従わなかったら懲戒処分…

国際人権自由権規約違反では？

2012年2月、橋下市長・大阪維新の会が主導して、教職員に学校行事(卒業式・入学式等)での「君が代」起立・斉唱を義務づける大阪市国旗国歌条例が制定されました。以降、大阪市立学校の教職員には、国旗(日の丸)に向かって国歌(君が代)を起立・斉唱する自らの姿を通して児童・生徒の教育を行えという教育長通知と校長からの職務命令によって、「君が代」起立・斉唱が義務付けられています。

その下で、子どもたちには、「国歌は大切」「日本の国歌は『君が代』」「『君が代』を姿勢を正してしっかり歌おう」という説明だけしかされません。「日の丸」に向かって「君が代」を起立・斉唱することが有無を言わせず求められます。「君が代」がどんな歌なのか、その意味も歴史も何も伝えられないままに…です。本当にそんなことがあるのか？子どもたちに、「君が代」がどんな歌か、歌詞の意味や歴史について教えてもらったかどうか聞いてみてください。

「日の丸」に向かって「君が代」を斉唱する卒業式や入学式の形式は、国民を戦争に総動員する目的でアジア侵略戦争から太平洋戦争に至る時代(1930年代後半以降)につくられたことが明らかになっています。その時代の修身教科書では「君が代」について、『この歌は、「天皇陛下のお治めになる御代は、千年も万年もつづいて、おさかえになりますやうに。」といふ意味(いみ)で、国民が、心からおいはひ申しあげる歌であります。「君が代」の歌は、昔から、私たちの先祖(せんぞ)が、皇室のみさかえをおいのりして、歌ひつづけて来たもので、世々の国民のまごころのとけこんだ歌であります。』とまったくの嘘を教えていたのです。

このような歴史を持つ「君が代」斉唱を全員に一律に強制することは許されません。松田さんは、この「君が代」強制の実態が、子どもの権利条約と国際人権自由権規約の2つの国際条約に違反していると訴えています。松田さんへの戒告処分を散り消すことは、教職員の権利確立に寄与すると同時に、子どもの権利侵害の是正につながるものです。「公正な判決を求める署名」へのご協力をお願いいたします。